

学校評価(令和5年度 第1回集計結果)

【各項目4点で集計】

アンケート結果から見えた課題について、原因や具体的な解決策を検討しました。職員の共通理解のもと実施していきます。

また、御意見などは真摯に受け止めると同時に、より良い教育活動を推進していくことで、保護者や地域の方々と連携して子供を育てていけるようにしていきたいと思えます。

1 学力向上

生徒アンケートでは、昨年度の同時期調査より、多くの項目で数値が減少した。特に、「家庭学習が習慣になっている」が0.67減少、「テスト勉強の仕方がよくわかる」が0.48減少していることから、学習内容の指導だけでなく、家庭学習の習慣付けや、勉強の仕方をしっかりと指導していく必要があると感じる。

保護者アンケートでは、「学校は、学力向上のために工夫及び充実した授業を行っている」の数値が昨年度より増加しているが、生徒アンケートと同じく、「お子さんは、家庭学習が習慣化している」の数値は減少している。

- (1)1年生に学習ナビ(家庭学習の仕方・テスト勉強の仕方)を配付
- (2)学習委員会による家庭学習強化月間を設定するなど、生徒たちから学習を促進する雰囲気づくりを図る。
- (3)小学校と学習の達成度について連携をとり、家庭学習の大切さなどを早い段階で呼び掛けてもらう。

2 生徒の悩みへの対応

生徒アンケートでは、「先生は、悩み事に親身に素早く対応してくれる」の満足度が、昨年度より、0.3減少している。しかし、保護者アンケートでは同様の項目において、0.9の増加が見られた。今後も、生徒の悩みに素早く対応できるように、生徒に寄り添った指導を行う。

- (1)担任だけで、生徒の悩みや課題に対応するのではなく、必要に応じて、スクールカウンセラーや生徒指導主事と連携し全職員で対応していく。
- (2)生徒の抱えている悩みや課題は、多様化しているため長中期的に継続することが求められる場合もある。
しかし、早期発見や情報共有などは、素早く、適切に行っていく。
- (3)「先生は、悩み事に親身に素早く対応してくれる」に学校もしっかりと取組むことで、他の項目も好転すると考える。

3 教育活動の内容や生徒の様子への伝え方

保護者アンケートでは、「学校は、教育活動の内容や生徒の様子等をしっかりと伝えている」「学校の広報活動は充実している」の項目において、昨年度より数値が増加した。生徒アンケートの「学校の出来事を家族によく話している」の項目も昨年度とはほぼ同数値だったことから、学校と家庭の連携はおおむねとれている。

また、「学校は、行事等で生徒に有意義な体験をさせ、将来に生かせる力の育成に努めている」が0.19増加している。行事等がコロナ禍前に戻ったことで数値が増加したと考えられる。

- (1)引き続き、ホームページや学校から配付している便りを充実したものにしていく。
- (2)各種行事に積極的に保護者の方の参加や参観を促し、学校と家庭がより連携していく。